

表1 会計別予算執行状況 平成26年3月31日現在

区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	315億4001万円	289億8983万円	91.9%	286億8807万円	91.0%
特別会計	190億6176万円	180億2020万円	94.5%	172億9530万円	90.7%
国民健康保険	92億9839万円	86億8162万円	93.4%	82億8604万円	89.1%
後期高齢者医療	15億607万円	15億1362万円	100.5%	14億6403万円	97.2%
介護保険	49億2417万円	48億4943万円	98.5%	44億7810万円	90.9%
戸倉財産区	2512万円	2617万円	104.2%	2164万円	86.1%
下水道事業	32億6786万円	29億1438万円	89.2%	30億2446万円	92.6%
テレビ共同受信事業	4015万円	3498万円	87.1%	2103万円	52.4%
合計	506億177万円	470億1003万円	92.9%	459億8337万円	90.9%

一般会計...市税を主に国や都からの支出金、地方交付税などを収入とし、福祉、道路整備、ごみ処理、教育などの行政の各分野を運営する会計です。
 特別会計...特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは区分して経理を行う会計をいいます。

表2 市債現在高の状況 平成26年3月31日現在

目的	現在高
教育債(学校や図書館などの整備のために)	37億7090万円
土木債(道路や水路などの整備のために)	35億1643万円
衛生債(保健センターなどの整備のために)	31億6531万円
総務債(庁舎などの整備のために)	14億4384万円
商工債(観光施設などの整備のために)	11億310万円
消防債(消防施設の整備のために)	1億9895万円
民生債(児童館などの整備のために)	1億3541万円
その他(臨時財政対策債 ¹ 、減税補てん債 ² など)	134億3995万円
計	267億7389万円
下水道事業特別会計(下水道の整備のために)	235億8698万円
合計	503億6087万円

1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。
 2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

市の財政状況を お知らせします

市では、皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われているのをお知らせするため、年に2回財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、平成26年3月31日現在の平成25年度の一般会計と6つの特別会計の予算の執行状況(表1)、市の財産、借入金などの概要です。なお、予算を整理する出納整理期間(平成26年4月1日から5月31日まで)を含めた平成25年度の決算状況は、あらためてお知らせします。

表やグラフが見やすいように、1万円未満を端数調整して表記しています。

市債現在高の状況

長期間にわたって多くの方が利用する公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要になるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借ります。これを市債といいます。市債の活用により、現在施設を利用している方だけではなく、これから利用する世代の方々にも整備費用を負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。(表2)

一時借入金金の状況

市の会計は、予算があっても現金が一時的に不足することがあります。そこで、年度内の返済を条件に銀行などから一時的に借りるお金が一時借入金です。3月31日現在、下水道事業

基金の状況

基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。3月31日現在の基金の現在高は、18種類の基金を合わせて39億7102万円です。

特別会計で2億8千万円の借入れがあります。

市有財産の状況

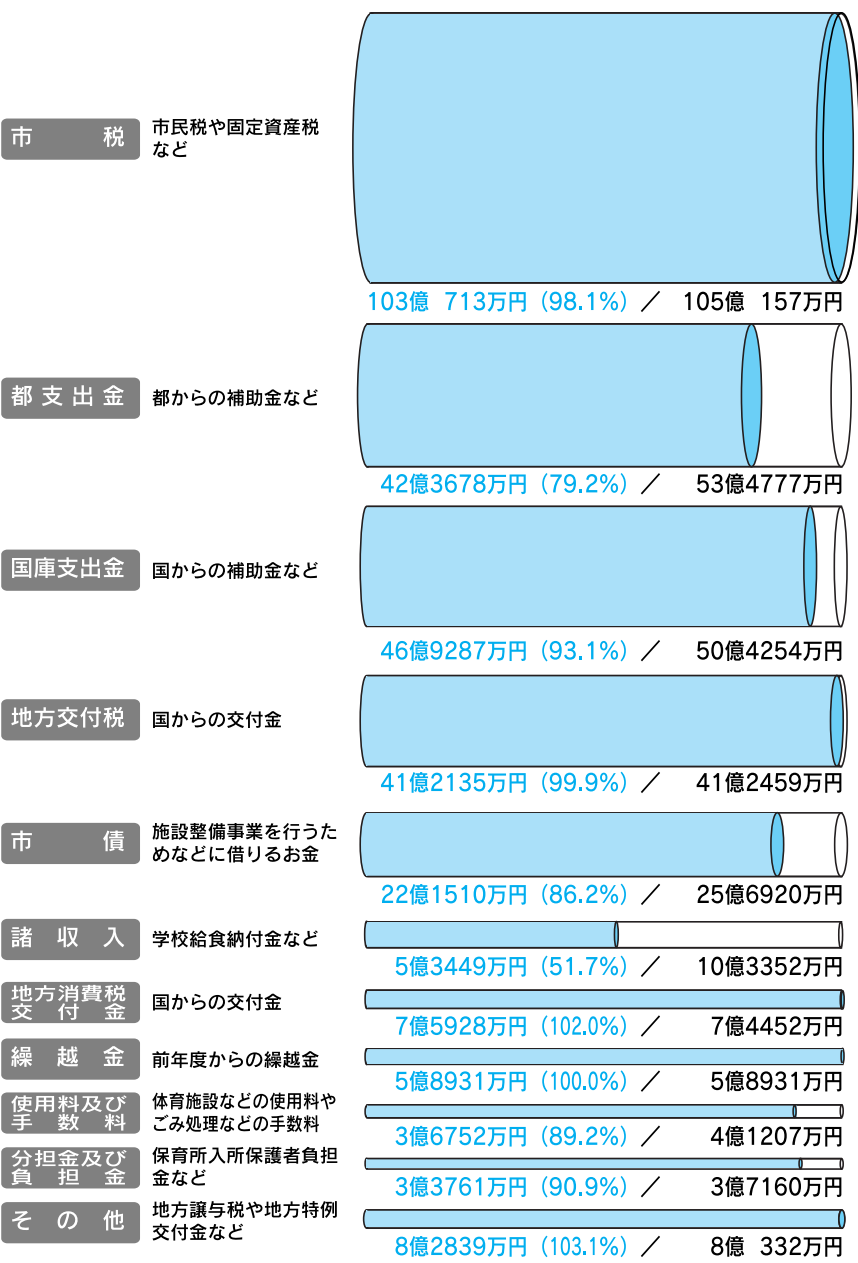
土地面積(学校敷地など)：594万8880平方メートル
 建物面積(庁舎など)：19万2468平方メートル
 自動車保有台数(消防車両を含む)：88台
 出資金などの現在高：1億287万円

一般会計の状況



入ってきたお金(歳入)

合計 収入済額 289億8983万円 (収入率 91.9%)
 / 予算額 315億4001万円



使ったお金(歳出)

合計 支出済額 286億8807万円 (執行率 91.0%)
 / 予算額 315億4001万円

